

令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	臓器間ネットワークによる糖代謝恒常性維持機構の解明と糖尿病治療戦略の開発
研究代表者	片桐 秀樹 (東北大学・大学院医学系研究科・教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】</p> <p>本研究は、臓器間ネットワークの観点よりインスリン分泌の神経制御機構と糖新生制御機構に焦点を当てて糖代謝恒常性維持機構を解明する研究課題である。最新の技術や多くの臓器特異的遺伝子操作マウスを駆使し、糖代謝恒常性維持に関与する主要な臓器の臓器連関を個体レベルで検証し、臨床現場で着想した仮説の検証を目指すものである。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>迷走神経刺激による臓器間ネットワークの神経制御機構の解明は学術的意義が高く、糖新生基質の流れに着目した糖新生機構の解明は独創的である。生体の糖代謝恒常性維持機構の解明により、この破綻病態である糖尿病の成因に立脚した画期的な治療法の開発が期待される。</p>